

2025 年度事業計画書

〔 2025 年 4 月 1 日から
2026 年 3 月 31 日まで 〕

当財団は、「産業、経済、文化の発展に貢献する科学技術、芸術等を中心とする分野で著しい貢献をした者の顕彰、研究又は普及啓発に対する助成等を通じてその促進を図るとともに国際相互理解の増進に努め、もって社会の啓発に貢献し、人類の平和と繁栄に寄与する」ことを目的として、1984 年(昭和 59 年)4 月 12 日に設立され、1985 年(昭和 60 年)に第 1 回京都賞授賞式、第 1 回研究助成金贈呈式を開催して事業を開始した。本年度は下記の通り各事業を推進する。

2025 年度事業計画（概要）

I. 顕彰事業

1. 第 39 回(2024)京都賞関連行事「Kyoto Prize at Oxford」(英国オックスフォード)の支援
2. 第 40 回(2025)京都賞受賞者の審査及び決定
対象分野 先端技術部門 : 情報科学
基礎科学部門 : 生命科学及び医学
(分子生物学・細胞生物学・システム生物学等)
思想・芸術部門 : 思想・倫理
第 40 回(2025)京都賞授賞式及び関連行事の開催
第 40 回(2025)京都賞関連行事「Kyoto Prize Symposium」(米国サンディエゴ)の支援及び寄附
3. 第 41 回(2026)京都賞候補者推薦の受付及び審査選考の開始
4. 第 42 回(2027)京都賞授賞対象分野及び審査機関委員の決定

II. 研究助成事業

1. 稲盛研究助成
 - ・ 2025 年度 稲盛研究助成金の贈呈及び 3S 交流会の開催
 - ・ 2026 年度 稲盛研究助成の申請受付と助成対象案件の審査及び決定
 - ・ 2027 年度 稲盛研究助成選考委員の決定
2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ
 - ・ 2025 年度 InaRIS フェロー称号の授与
 - ・ 2025 年度 アドバイザリーボードミーティングの開催
 - ・ 2025 年度 中間審査会の開催
 - ・ 2026 年度 InaRIS フェローシップの申請受付と InaRIS フェローの審査及び決定
 - ・ 2026 年度 InaRIS 運営委員の決定
 - ・ 2027 年度 InaRIS フェロー選考委員の決定

III. 社会啓発事業

1. こどものキツキ応援プロジェクトの推進
2. INAMORI ミュージック・デイの開催
3. 「京都大学ー稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の共催
4. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援
5. ピエール・ブーレーズ生誕 100 年記念事業への協賛
6. ヴッパタール舞踊団『Sweet Mambo』京都公演への協賛

I. 顕彰事業

1. 第 39 回(2024)京都賞に関する事項

- (1) 英国オックスフォード大学主催「Kyoto Prize at Oxford」の支援
2025 年 5 月、第 39 回(2024)京都賞受賞者を迎えて開催される英国オックスフォード大学主催の「Kyoto Prize at Oxford」の開催を支援するとともに、英国から、欧州及び世界に向けて京都賞を発信する。

2. 第 40 回(2025)京都賞に関する事項

- (1) 京都賞審査機関による審査
2025 年 4 月、京都賞委員会にて、第 40 回(2025)京都賞審査機関の各部門専門委員会及び審査委員会において審査選考された候補者について最終候補者を選定し、5 月開催の定時理事会に上申する。
- (2) 受賞者の決定と発表
2025 年 5 月の定時理事会にて、京都賞委員会から上申された最終候補者を承認し、受賞者として決定する。また 6 月の記者発表にて受賞者名及び受賞理由を公表する。
- (3) 授賞式及び関連行事の開催
2025 年 11 月 10 日、第 40 回(2025)京都賞授賞式及び晩餐会を京都市内にて執り行う。また、翌 11 月 11 日、受賞者による記念講演会を開催する。
- (4) 米国サンディエゴにおける「Kyoto Prize Symposium」の支援及び寄附
2026 年 3 月、第 40 回(2025)京都賞受賞者を迎えて米国サンディエゴにおいて開催される「Kyoto Prize Symposium」の開催を支援する。また、2023 年 3 月再調印の覚書に基づき、主催の京都賞シンポジウム組織及び共催大学（カリフォルニア大学サンディエゴ校、ポイント・ロマ・ナザレン大学）に対して、第 3 回目 35 万ドルの寄附を実施する。（2023 年度から 2026 年度までの 4 年間で総額 140 万ドルを寄附予定）

3. 第 41 回(2026)京都賞に関する事項

- (1) 推薦依頼と受付
推薦依頼先の名簿を作成し、推薦依頼を行うとともに、推薦の受付を行う。
- (2) 京都賞審査機関による審査
第 41 回(2026)京都賞審査機関にて、候補者の審査選考を行う。

(3) 授賞式及び関連行事の企画

第41回(2026)京都賞授賞式及び関連行事の企画を行う。

4. 第42回(2027)京都賞に関する事項

(1) 授賞対象分野の決定

2025年10月、臨時理事会にて、第42回(2027)京都賞授賞対象分野を承認、決定する。

(2) 京都賞審査機関委員の決定

2025年10月、臨時理事会にて、第42回(2027)京都賞審査機関委員を承認、決定する。

II. 研究助成事業

1. 稲盛研究助成

(1) 2025年度 稲盛研究助成に関する事項

① 2025年度稲盛研究助成金の贈呈及び3S交流会の開催

2025年4月、2025年度稲盛研究助成金贈呈式を京都市内にて開催する。また、同日、これまでの助成対象者を会員母体とする盛和スカラーズソサエティによる3S交流会を開催する。

(2) 2026年度 稲盛研究助成に関する事項

① 従来の稲盛研究助成プログラムを拡充して設立した二つのコース「はぐくむ」「たかめる」について募集案内を送付するとともに、ウェブにて申請の受付を行う。

② 稲盛研究助成選考委員会による選考

2025年12月、稲盛研究助成選考委員会にて、助成対象者の選考を行う。

③ 稲盛研究助成対象者の決定と発表

2026年3月、定時理事会にて、稲盛研究助成選考委員会において選考された助成対象者を承認、決定する。なお、「はぐくむ」コースの助成対象者は50名、研究助成金は1名あたり200万円とし、「たかめる」コースの助成対象者は10名、研究助成金は1名あたり1,000万円とする。助成対象者を決定次第、本人へ通知するとともに、氏名を発表する。

(3) 2027 年度 稲盛研究助成に関する事項

① 稲盛研究助成選考委員の決定

2026 年 3 月、定時理事会にて、2027 年度稲盛研究助成選考委員を承認、決定する。

2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ

(1) 2025 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① InaRIS フェロー称号の授与

2025 年 4 月、2025 年度 InaRIS フェロー授与式を京都市内にて開催する。

② アドバイザリーボードミーティングの開催

2025 年 10 月、アドバイザリーボードミーティングにて、在籍する InaRIS フェローの 1 年間の研究成果並びに今後 1 年間の研究計画を報告する。

③ 中間審査会の開催

2025 年 10 月、中間審査会にて、助成開始から 3 年目及び 6 年目の InaRIS フェローより、3 年間の研究成果並びに今後 3 年間の研究計画の報告を受ける。

(2) 2026 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 募集要項の発送と受付

募集案内を発送するとともに、ウェブにて申請の受付を行う。

② InaRIS フェロー選考委員会による選考

2025 年 11 月及び 12 月、InaRIS フェロー選考委員会にて、助成対象者の選考を行う。

③ InaRIS フェローの決定と発表

2026 年 3 月、定時理事会にて、InaRIS フェロー選考委員会において選考された InaRIS フェローを承認、決定する。なお、InaRIS フェローは 2 名、各 1 名につき 1 年あたり 1,000 万円を 10 年間(合計 1 億円)助成するものとし、InaRIS フェローを決定次第、本人へ通知する。

④ InaRIS 運営委員の決定

2026 年 3 月、定時理事会にて、2026 年度 InaRIS 運営委員を承認、決定する。

(3) 2027年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① InaRIS フェロー選考委員の決定

2026年3月、定時理事会にて、2027年度 InaRIS フェロー選考委員を承認、決定する。

Ⅲ. 社会啓発事業

1. こどものキヅキ応援プロジェクトの推進

「こどもたちが不思議を見つけて、自ら深め、連鎖的に増やすことを応援する」をコンセプトに、こどもたちのキヅキを促し、受け止め、答えを出す場ではなく自分で調べてみようと思うきっかけとなる場を提供する。

(1) こども科学博

2025年8月1日、2日、3日の3日間、京都市勧業館（みやこめっせ）にて、「こども科学博 2025」を開催する。

(2) キヅキランド

ウェブサイト「キヅキランド」の運用を行い、同サイトを使った当財団主催ワークショップ等を開催する。また、ワークショップツール「キヅキランドメーカー」の利用を促進する。

(3) キヅキひろば

コンセプトを共有するパートナーと協働し、少人数のワークショップを開催する。

2. INAMORI ミュージック・デイの開催

音楽分野の振興を目的に、音楽を通して若い世代を含む多くの方々が心豊かな感動を得る場を創出するため、INAMORI ミュージック・デイを開催する。

(1) シンフォニックコンサート

2025年11月3日、京都コンサートホールにて、シンフォニックコンサートを開催する。

(2) ミニコンサート

文化施設等にて、ミニコンサートを開催する。

(3) スクールコンサート&レッスン

2025年10月、京都府下の高校にて、コンサートやレッスンを行う。

3. 「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の共催

2022年3月再調印の寄附覚書に基づき、京都賞に対する社会の期待と関心を高めるとともに、学術・芸術の振興に寄与し、併せて京都大学と当財団の協力関係を強化することを目的に、「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」を京都大学と共催し、第4回2,000万円の寄附を実施する。(2022年度から2025年度までの4年間で総額8,000万円を寄附)

4. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

当財団からの寄附金(総額1,100万ドル)で設立されたケースウエスタンリザーブ大学「倫理と叡智のための稲盛国際センター」が開催する稲盛倫理賞関連行事をはじめ、同センターの活動を支援する。

5. ピエール・ブーレーズ生誕100年記念事業への協賛

京都コンサートホールにて2025年11月8日に開催される、第25回(2009)京都賞受賞者ピエール・ブーレーズ生誕100年記念事業「ブーレーズへのオマージュ」の趣旨に賛同し、協賛を行う。

6. ヴッパタール舞踊団『Sweet Mambo』京都公演への協賛

ロームシアター京都にて2025年11月21日及び22日に開催される、第23回(2007)京都賞受賞者ピナ・バウシュが設立したヴッパタール舞踊団の『Sweet Mambo』京都公演及び関連イベントの趣旨に賛同し、協賛を行う。

IV. その他

1. 広報活動

(1) 記者発表

2025年6月、京都賞受賞者発表記者会見を実施する。その他、関係記者クラブ及び記者に対し、プレス資料を随時配布する。

(2) 刊行物の発刊

下記の刊行物を発刊し、関係先へ配布する。

- ・「稲盛財団ニュース」(紙媒体で随時発行)

(3) 電子媒体による情報発信

下記の電子媒体を通じて、京都賞や当財団の活動に関する情報を発信する。

- ・稲盛財団ホームページ

- ・京都賞サイト
- ・SNS (Facebook、X、Instagram、YouTube)
- ・メールマガジン「稲盛財団 Magazine」「Inamori Foundation e-Newsletter」
(随時配信)
- ・3S 会員対象メールマガジン「3S Magazine」(随時配信)

(4) 各施設での展示

下記の施設で京都賞及び稲盛財団の取り組みを紹介する展示を行う。

- ・京都市京セラ美術館 (常設)
- ・鹿児島大学 稲盛記念館 (常設)
- ・京セラ株式会社 稲盛ライブラリー (常設)
- ・京都市青少年科学センター (常設)